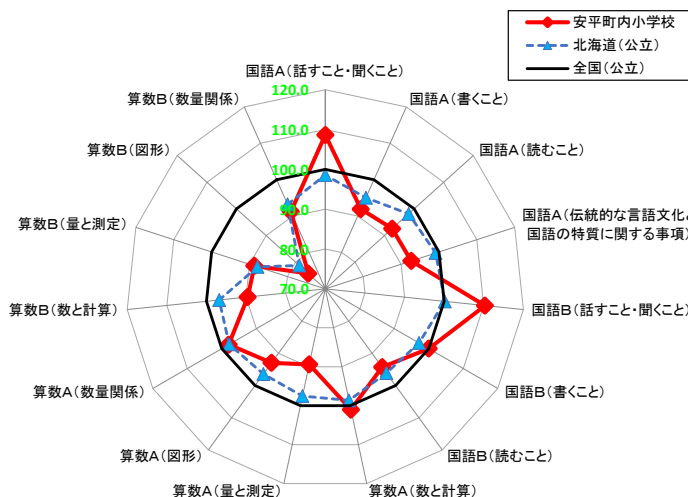


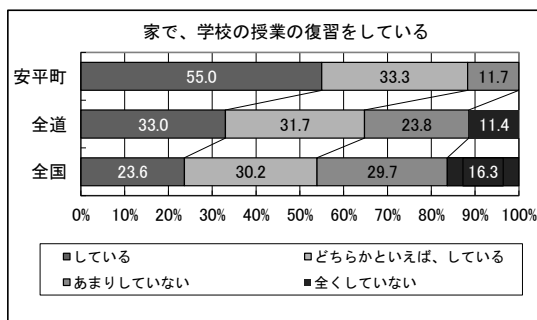
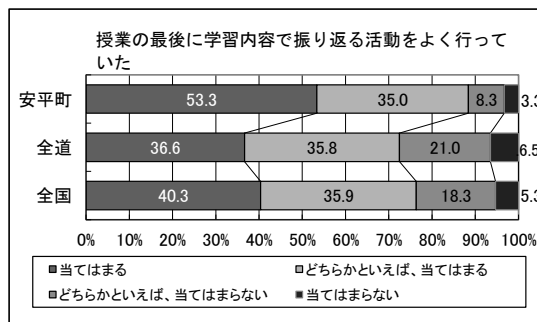
■安平町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:61人)

【教科全体の状況】

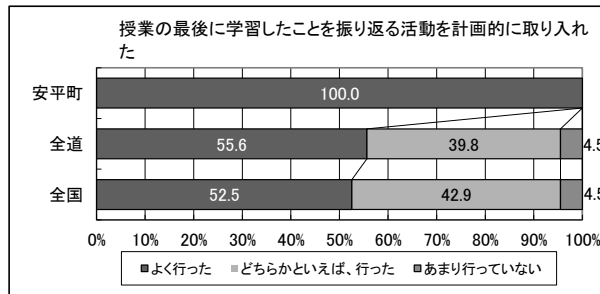
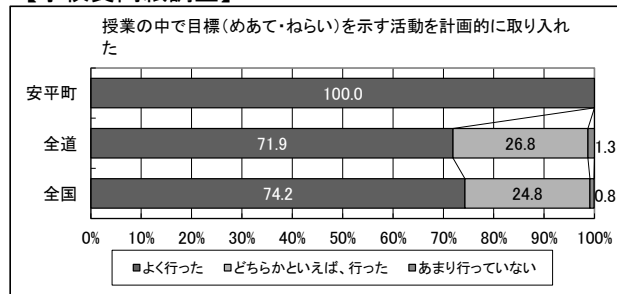
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・B、算数Aにおいて、全国の平均正答率を上回っている。 ○ 国語A・Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業でノートに学習の目標やまとめを書くように指導したことにより、本時の学習内容を家庭で振り返るようになり、家庭学習の習慣化が図られたと考えられる。 ○ 各学校の授業において、導入で目標を示すなどして、児童に学習の見通しをもたせ、終末で学習内容を振り返る活動を位置付けたことにより、学習内容の定着が図られたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行った」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答している。 ○ すべての学校が、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答している。 	

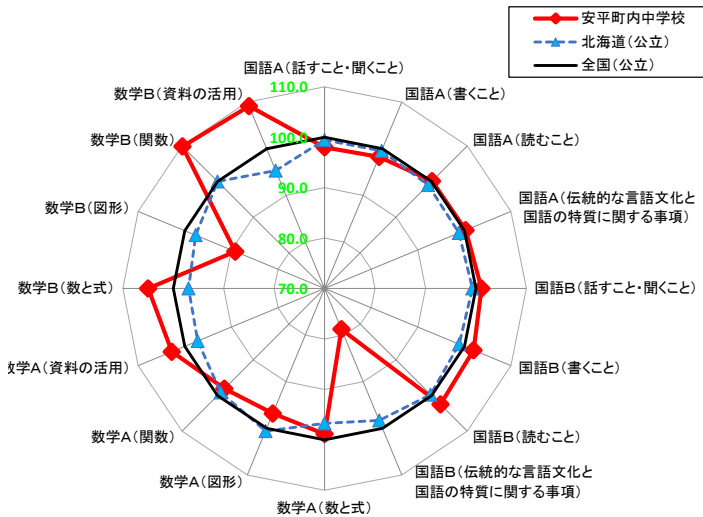
【安平町の学力向上策】

- ◎ 学校改善推進委員会における、全国学力・学習状況調査結果の早期の分析、課題の洗い出し、学力向上や指導方法の工夫改善につながるまとめの作成
- ◎ 習熟度別指導、個に応じた指導、少人数、TTなど様々な形態での指導による基礎学力の向上
- ◎ 校種間や同校種間相互の授業研究、連携や一貫教育、習熟度別指導方法の研究、指導方法の工夫改善に向けた体制の構築
- ◎ 義務教育9年間を見通した学習規律の確立、家庭学習習慣の定着

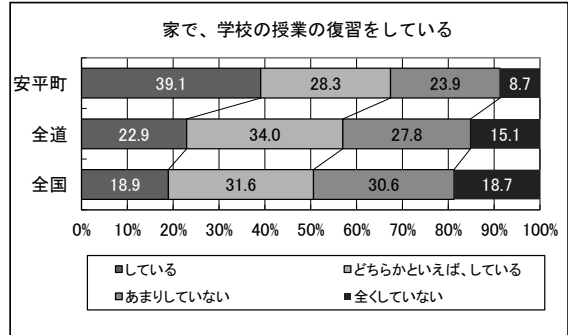
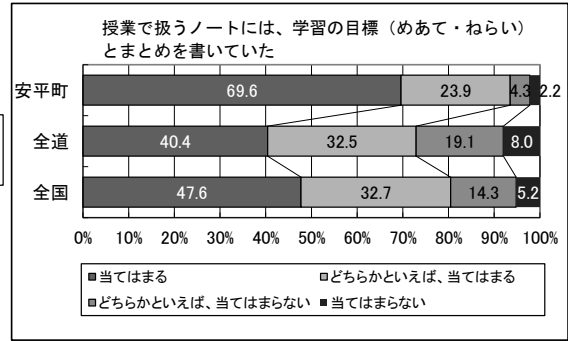
■安平町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:46人)

【教科全体の状況】

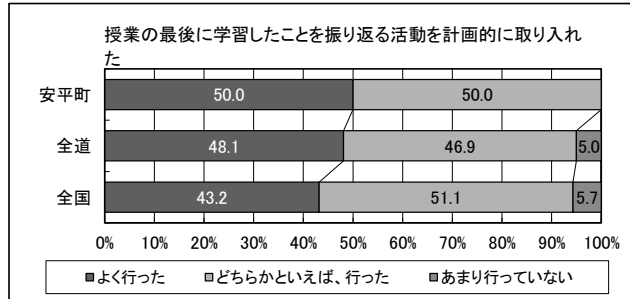
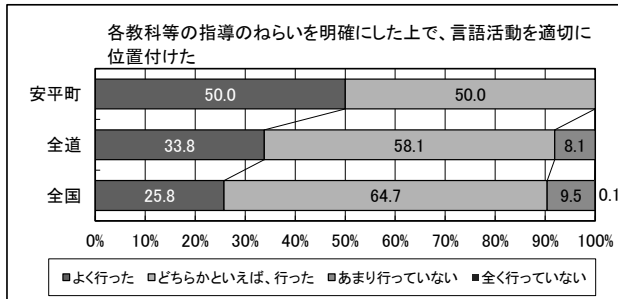
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bにおいて、全国の平均正答率を上回っている。 ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「数と式」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後に振り返る活動を計画的に行ったことにより、本時の学習内容を家庭で振り返るようになり、家庭学習の習慣化が図られたと考えられる。 ○ 各学校の授業において、指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けたことにより、思考力・判断力・表現力を育む指導の充実が図られ、国語B及び数学Bの多くの領域において、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【安平町の学力向上策】

- ◎ 学校改善推進委員会における、全国学力・学習状況調査結果の早期の分析、課題の洗い出し、学力向上や指導方法の工夫改善につながるまとめの作成
- ◎ 習熟度別指導、個に応じた指導、少人数、TTなど様々な形態での指導による基礎学力の向上
- ◎ 校種間や同校種間相互の授業研究、連携や一貫教育、習熟度別指導方法の研究、指導方法の工夫改善に向けた体制の構築
- ◎ 義務教育9年間を見通した学習規律の確立、家庭学習習慣の定着